

広域連携による取組みへの評価について

1 趣旨

北海道・北東北知事サミットは、四道県の知事が一堂に会し、広域的な問題など共通する行政課題について意見交換を行い、相互の連携や交流を深めて、北海道・北東北の発展につなげることを目的として平成9年度から開催されてきた(北海道参加は平成13年度から)。その目的達成のため、今までに延べ114項目の合意がなされ、連携事業を展開してきた。

知事サミット開始から10年目となる節目を捉え、これまでの四道県の合意事項による取組みを評価し、その成果と課題を明らかにする。

2 これまでの取組みの達成状況について

(1) 達成状況の総括

知事サミットにおける合意に基づき、これまで延べ114項目の連携事業に取り組んできた。

これらのうち、当初の目標を達成したものは60項目となっており、未達成(実現途上)のものは54項目となっている。

【これまでの合意事項の達成状況(総括)】

達成状況	目標達成	実現途上	計
今後の取組み			
取組継続	27	51	78
取組終了	33	3	36
計	60	54	114

(2) 分野別の達成状況

環境(28項目)

産業廃棄物への対応については、産業廃棄物条例の制定、環境保全協力金制度の整備、合同監視体制の整備等を実現することができた。

また、ゼロエミッション型社会の構築を目指して三県が率先した取組みを行い、ISO14001認証取得を実現することができた。

その他、環境保全等に関する情報発信、啓発事業についても一定の成果が現れている。

【これまでの合意事項の達成状況(環境)】

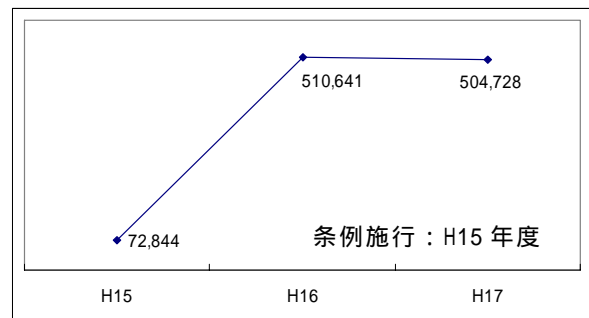
達成状況	目標達成	実現途上	計
今後の取組み			
取組継続	8	11	19
取組終了	9	0	9
計	17	11	28

【主な合意項目】

- ・産業廃棄物条例の制定及び環境保全協力金制度の整備（三県）：目標達成
- ・水と緑を守る条例の整備（四道県）：目標達成
- ・ゼロエミッション型社会の構築に向けた率先行動（三県）：目標達成
- ・児童向け環境副読本の作成（三県）：目標達成
- ・環境調和型産業の振興（三県）：目標達成
- ・「緑のランドデザイン」の策定及びそれに基づく取組み（三県）

：達成途上

（参考）産業廃棄物税徴収額（三県計） 単位：千円



資料：各県資料

健康（10項目）

平成15年度に「北のくに健康づくり推進会議」を設立し、各種の共同事業を実施することにより、情報発信事業や歯科対策、自殺予防対策等の事業において普及啓発の推進が図られた。

一方、医師確保対策などについては対策の検討に時間を要している。

【これまでの合意事項の達成状況（健康）】

達成状況 今後の取組み	達成状況		
	目標達成	実現途上	計
取組継続	0	10	10
取組終了	0	0	0
計	0	10	10

【主な合意項目】

- ・北のくに健康づくり推進会議の設立と活動（四道県）：実現途上
- ・医師確保対策の推進（四道県）：実現途上
- ・県境地域における救急医療体制の充実（三県）：実現途上

交通・情報（17項目）

三県の産業、文化、自然等について情報発信を行い、イメージ形成や認知度の向上を図ることができた。

また、県境を越えた道路整備等、交通インフラの広域的な整備について一定の進捗が見られた。

一方、空港・港湾の役割分担の検討などについては調整に時間を要している。

【これまでの合意事項の達成状況（交通・情報）】

達成状況 今後の取組み	達成状況		
	目標達成	実現途上	計
取組継続	0	8	8
取組終了	6	3	9
計	6	11	17

【主な合意項目】

- ・みちのくバーチャル・エキスポ開催及びみちのく夢ネット構築（三県）：目標達成
- ・東北新幹線の早期開業と北海道新幹線の早期着工（四道県）：実現途上
- ・県境を越える国道、県道の整備（三県）：実現途上
- ・空港・港湾の役割分担の検討（三県）：実現途上

合同事務所（9項目）

海外及び国内における、合同の県外事務所の設置により、観光、物産等について情報発信の拠点形成が図られた。

【主な合意項目】

- ・ソウル及びシンガポール事務所の開設（四道県）：目標達成
- ・福岡、名古屋、大阪及び北海道事務所の開設（三県）：目標達成

【これまでの合意事項の達成状況（合同事務所）】

達成状況	目標達成	実現途上	計
今後の取組み			
取組継続	8	1	9
取組終了	0	0	0
計	8	1	9

産業振興（22項目）

福岡及び大阪に三県共同アンテナショップを設置し、物産販売を実施したり、インターネットによる農林水産物の情報発信を実施する等、共同による情報発信と県外への売り込みを実現することができた。

また、産地強化のための農産物多収技術等に関する共同研究を実施し、研究成果を生産現場へフィードバックする等の成果を出すことができた。

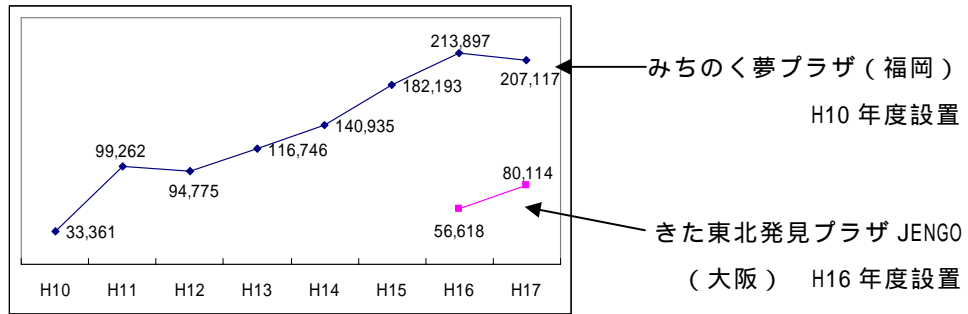
【主な合意項目】

- ・大都市での特産品通年販売コーナー（アンテナショップ）設置（三県）：目標達成
- ・インターネット活用による情報受発信（三県）：目標達成
- ・産地強化につながる各種共同研究（三県）：目標達成
- ・国際感覚を持った人材の育成（四道県）：目標達成
- ・公設試験研究機関の広域連携（四道県）：実現途上
- ・農林水産物認証制度の共同実施に関する調査検討（三県）：実現途上

【これまでの合意事項の達成状況（産業振興）】

達成状況	目標達成	実現途上	計
今後の取組み			
取組継続	2	10	12
取組終了	10	0	10
計	12	10	22

(参考) 三県合同アンテナショップ売上高 単位：千円



資料：各県資料

観光 (7項目)

平成10年度に「北東北文化観光振興アクションプラン」を策定し、誘客事業や情報発信事業を共同実施することにより、北東北全体としての観光イメージの形成や、北東北に対する認知度の向上を図ることができた。

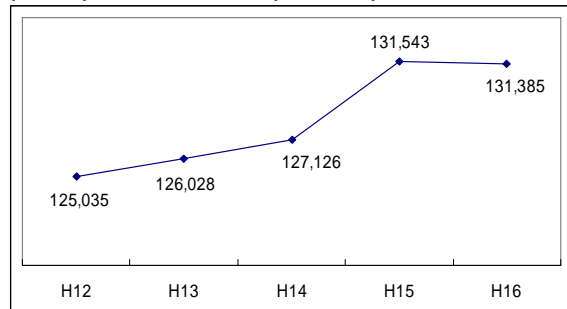
【これまでの合意事項の達成状況 (観光)】

達成状況 今後の取組み	達成状況		計
	目標達成	実現途上	
取組継続	4	2	6
取組終了	1	0	1
計	5	2	7

【主な合意項目】

- ・「北東北文化観光振興アクションプラン」の策定とそれに基づく観光事業 (三県) : 目標達成
- ・リアルタイムな情報発信体制の強化 (三県) : 目標達成
- ・三県共通の観光案内板設置 (三県) : 目標達成

(参考) 観光客入込数 (三県計) 単位：千人



資料：各県統計

広域連携・人事交流 (9項目)

平成11年度に、広域連携の基本的指針となる「北東北広域連携構想」を策定するとともに、構想の推進組織である「北東北広域連携推進協議会」を設立した。また、平成17年度に、最近の社会情勢の変化を踏まえあらためて広域連携の方向性を示した「北東北のグランドデザイン」を策定するなど、広域連携の推進を図ることができた。

【これまでの合意事項の達成状況 (広域連携・人事交流)】

達成状況 今後の取組み	達成状況		計
	目標達成	実現途上	
取組継続	3	5	8
取組終了	1	0	1
計	4	5	9

三県職員の人事交流については、試験研究機関の職員や、次長級職員も対象とするなど範囲を拡大し、県庁間の交流・連携の促進を図ることができた。

【主な合意項目】

- ・四道県知事によるリレートップセミナーの開催（四道県）：目標達成
- ・北東北広域連携構想の策定（三県）：目標達成
- ・人事交流の拡大（知事部局、教育委員会）（三県）：目標達成
- ・人事交流の拡大（試験研究機関）（四道県）：実現途上

（参考）北東北三県人事交流者数（知事部局） 単位：人

年度	H13	H14	H15	H16	H17	H18
人数	6	6	30	30	36	39

資料：各県資料

文化交流等（12項目）

平成15年度に「北の縄文文化回廊づくりアクションプログラム」を策定し、縄文文化に関する四道県の交流事業を実施した。また、心豊かな子どもを育むため、子どもテレビ局による番組制作、武道キャンプ、北東北青少年科学セミナー等の事業を実施した。

【これまでの合意事項の達成状況（文化交流等）】

達成状況	目標実現	実現途上	計
今後の取組み			
取組継続	2	4	6
取組終了	6	0	6
計	8	4	12

【主な合意項目】

- ・「北の縄文文化回廊づくり実践プログラム」の策定（四道県）：目標達成
- ・博物館共同展の開催（四道県）：目標達成
- ・子どもテレビ局による番組制作・放送（三県）：目標達成
- ・子どもたちのスポーツを通じた交流（武道キャンプの開催）（四道県）：目標達成
- ・大規模災害時における復旧支援体制の構築（四道県）：目標達成

3 評価

114 項目の連携事業のうち、ソウル、シンガポール、福岡、名古屋、大阪及び北海道の各事務所の合同設置、「北東北文化観光振興アクションプラン」の策定、人事交流、産業廃棄物税の共同導入など、半分を占める 60 項目について目標を達成している。

また、実現途上にあるものであっても、「緑のグランドデザイン」の策定及びそれに基づく取組みや、北のくに健康づくり推進会議の設立と活動などのように、既に目標の一部を達成し、具体的な取組み段階に進んでいるものも数多くあるなど、全体としては概ね順調に推移しており、所要の成果を上げていると評

価できる。

連携の成果が上がっているものとそうでないものについて、その原因を分析し、主なものを性質に応じて分類すれば次のとおりである。

(1) 連携の成果が上がっているもの

各道県のみでは解決できない広域的課題への取組み

人々の生活圏・経済圏が県境を越えて拡大するとともに、観光振興、環境対策など、広域的な課題が発生しているが、そうした課題に対する取組みについては、成果を上げている。

- ・「北東北文化観光振興アクションプラン」策定及び各種観光事業（三県）
- ・産業廃棄物条例の制定及び環境保全協力金制度の整備（三県）

情報発信力の強化につながる取組み

自然環境や特産品などの地域資源の共同活用や、県外事務所の共同設置による情報発信拠点の整備については、観光誘客や物産販売などで成果を上げている。

- ・【再掲】「北東北文化観光振興アクションプラン」策定及び各種観光事業
- ・福岡、名古屋、大阪及び北海道への合同事務所の設置（三県）
- ・大都市での特産品通年販売コーナー（アンテナショップ）設置（三県）
- ・ソウル及びシンガポール事務所の設置（四道県）

行財政運営の効率化につながる取組み

地方財政が一段と厳しさを増している中で、行政運営の効率化について取組み、所要の成果を上げている。

- ・福岡、名古屋、大阪及び北海道への合同事務所の設置（三県）

(2) 連携の成果が上がっていないもの

効果的手段を見出せないもの

四道県に共通した課題ではあるが、解決のための効果的な手段を見出せないものについては、対策の検討に時間を要している。

- ・医師確保対策の推進（四道県）

各道県間で競合関係にあるもの

各道県間で競合関係にあるものについては、調整に時間を要している。

- ・空港・港湾の役割分担の検討（三県）

4 今後の取組み

四道県における広域連携は、これまで「できることから着実に」実施してきたが、今後は、それにとどまらず、競合関係にあるものの調整など、より困難な課題を解決していくことが求められる。そのため、今後の連携については、これまでの成果や課題を踏まえた上で、次のようなことに留意して進めていく必要がある。

(1) より困難な課題への取組み

四道県の将来像を地域全体で共有しながら、より困難な課題にも積極的に取り組んでいく。そのため、各道県の得意分野を組み合わせるといった手法の活用などを検討する。

(2) 四道県職員の共同意識の醸成

より困難な課題を解決していくため、職員の交流をさらに促進し、従来にも増して四道県職員間の共同意識を醸成する。

(3) 様々な主体による交流・連携活動の促進

四道県の将来像を地域全体で共有するため、四道県の行政レベルの交流・連携だけではなく、北東北広域連携推進協議会による官民協働の取組みなど、NPO、民間企業、市町村等の様々な主体による交流・連携活動をさらに促進する。

(参考) これまでの民間での取組み例

- ・北東北三県の金融機関による合同のビジネス商談会の開催
- ・北東北三大学による単位互換制度の実施
- ・北東北三県のブドウや酵母を使ったワインの開発